



### 第 250 回例会

日 時:平成 28 年 8 月 11 日 (木) 12 : 30～14:30

場 所:八王子エルシィ

出席者:56 名 出席率 86.2%

(会員総数 68 名 欠席 9 名 休会 3 名)

#### 会食とハッピーコイン披露

宮城例会委員長の進行で会食に入り、武田副会長からハッピーコイン 23 件の披露があった。

(3～4 ページに掲載)

#### 1. 開 会 宮城例会委員長

8 月例会の開催を告げ、配布資料を確認する。

#### 2. 挨拶 岩島 寛会長



皆さん お暑うございます。体温よりも高い猛暑が続いておりますが、リオデジャネイロ・オリンピックも始まり、寝不足をして熱中症や風邪などにかからぬよう十分気を付けて下さい。

さて、本日は、大勢のお客様をお迎えしての例会であります。

先ずご紹介するのは、私共のクラブが最も親しく交流をさせて戴いております、東京日野プロバスクラブの本年度役員に就任されました、小島馨会長、小西弘純副会長、土方尚功幹事、後藤紀之副幹事の方々であります。小島会長にはこの後ご挨拶を頂戴したく存じます。

次にご紹介するのは、本日の卓話をして下さいます梅沢佳代子様、大越恵子様、田中尚子<sup>ひなき</sup>様の方々であります。八王子出身で、ドイツで伝染病と戦い、

多くの命を救ったドクター、肥沼信次氏について、興味深いお話を伺うことになっています。

もう一人の方、シニアダンディーズを通して、当クラブをこよなくご支援くださっています、皆様よくご存じの八王子出身のオペラ歌手、田中三佐代様であります。田中様には九月の例会で卓話をお願いしたところ快くお引き受けしてくださり、今日は、さすがプロですね、その下調べのために、わざわざお忙しい所をお越しくございました。

それから、私からのお願いが一つ、それは9月5日に開催されます、全日本プロバス協議会第1回東日本ブロック交流会のことであります。10クラブ 100名余のプロビアンが一堂に会し、ふれあいをもつことの意義は極めて大きく、そのための最大限のおもてなしをしようではありませんか。よろしくお願いいいたします。

これで、私の挨拶を終わります。

#### 3. お客様ご紹介・ご挨拶

日野プロバスクラブ

小島 馨会長 小西弘純副会長

土方尚功幹事 後藤紀之副幹事

ご挨拶 小島 馨会長



皆様今日は、今年度会長の小島でございます。今日、八王子の例会にお邪魔して、八王子さんの雰囲気につきり呑まれ、圧倒されております。八王子クラブの渋谷さん、杉山さん、大串さんは以前から存じ上げておられますが、今まではこういう機会がなく、日野は近隣とのお付き合いが少ないとの指摘も受けております。

これからは皆様のご指導を頂きながら、より皆様

に近づくようなクラブ運営を心掛けてゆきたいと思  
いますので、どうぞよろしくご指導くださるようお  
願い申し上げ、ご挨拶いたします。

#### 4. パースデーカード贈呈

8 月生まれの会員に、池田会員お手製のパースデー  
カードが会長から贈られました。



写真 左から佐々木正、宮崎、大高、八木の各会員  
(久野会員は欠席)

#### 5. 卓 話

テーマ「八王子出身の偉人 ドクター肥沼信次を知  
っていますか」

杉山会員からの紹介

明治 41 年生まれの先輩、八王子生まれの野口英  
世のような偉人として「八王子の Dr 肥沼信次」の  
お話をして頂きます。

八王子市は来年市政 100 周年を迎えるにあたり、  
「Dr 肥沼の偉業を後世に伝える会」の事業が展開さ  
れており、その実行委員の 3 人にお越しいたいで、  
映写画面とお話しにより、理解をして頂こうという  
ことであります。

話し手 梅沢香代子氏 大越恵子氏 田中尚子氏  
梅沢氏



写真は左から田中・大越・梅沢の各氏  
お休みななので、映像を主にして、その後田中尚子  
さんの方から説明をしてもらいます。私はプロバス  
クラブには生涯学習サロンでお世話になっていま  
す。また、私の弟高瀬謙輔が皆さんの会

でお世話になり、楽しい時間を共有させていただきました。  
深く感謝をしております。

今、来年の市制 100 周年に向けて、八王子の偉人  
とか歴史などの発掘に当たっており、その中で塚本  
さんが熱心に進められている「Dr 肥沼を八王子の偉  
人」として取り上げました。現在「Dr 肥沼の偉業を  
後世に伝える会」により、八王子出身の肥沼医師の  
ドイツでの偉業を多くの方々に知っていただく活動  
を展開しています。その内容について、映像と田中  
尚子さんのお話で進めたいと思います。

この後、肥沼医師のドイツでの献身的な医療活動  
を伝える映像が上映され、田中さんから「Dr 肥沼の  
偉業を後世に伝える会」の事業紹介や、事業への理  
解と資金面を含めた協力についてお話があった。

#### 6. 幹事報告 飯田幹事

日野プロバスクラブの 4 名の役員の方々のご出席  
を歓迎いたします。

卓話でお話しを頂いた 3 名の皆様に感謝します。

7 月 14 日の総会時に 2 件の質疑がありました。8  
月 4 日の理事会において検討しました結果は次の通  
りです。

① 澤渡会員の質問～「生涯学習サロンの在り方につ  
いての検討会の進捗状況はいかがか」

理事会としては「新年度も地域奉仕委員会を中心  
に、理事会も含めて継続的な検討を行って行く」。

② 東山会員の質問～「総会資料は事前に配布できな  
いか」

理事会としては「重要な審議事項がない場合は事  
前に送付する必要はない。通常総会では事前送付の  
必要はない。」との結論を得ました。

③ 同好会関係の報告・連絡事項は今年度から、例会  
場後方の掲示板(白板)に記載、掲示してください。

以上で報告を終わります。

#### 7. 委員会活動報告

(1) 例会委員会 宮城委員長

第 250 回例会の出席状況の報告

(2) 情報委員会 有泉委員長

「プロバスだより」249 号をお手元にお届けしま  
した。今回の編集は私、有泉が担当しました。校正  
等会長はじめ理事の皆さん、情報委員会のメンバー

にご協力いただきましてありがとうございました。

今月号は新年度の最初でしたので会長はじめ理事の皆さんの方針等を掲載しました。寄稿は一編になりましたが、次号からは多く掲載したいと思います。報告等の活字化も引き続きよろしくお祈いします。

### (3) 会員委員会 土井俊雄委員長

先月の例会では会員委員会の今年度の活動方針案を発表しましたが、本日例会終了後、具体策につき検討いたします。

### (4) 研修委員会 池田委員長

報告事項なし。

### (5) 地域奉仕委員会 持田委員長

地域奉仕委員会は生涯学習サロンを成功させることが最大の目標である。素晴らしいサロンの企画・実施を全員で練り始めている。

① 7月の例会後の委員会では過去5年間のサロンの実施状態を振り返った。また、第20回のサロンのアンケートの集計を参考にサロンのあるべき方向を話し合った。その中で、更に10年間のサロンの振り返りをするのが役に立つという意見があった。

② 本日の例会の後、過去10年間のサロン実績をみんなで振り返り、今年度の計画の参考にする。

③ 今後徐々にサロンの内容を詰めていきますが、サロンの講師を勤めて頂ける方がおりましたら持田まで連絡頂きたくお祈い申し上げます。

また、地域奉仕委員会の中でサロンの講師として決めさせて頂きました方には、こちらから順次そのお祈いをして参りますので、その節はよろしくご協力お祈い致します。

### (6) 交流担当 立川委員

#### (全日本プロバス協議会副会長)

① 全日本プロバス協議会東日本ブロック第1回交流会に105名の登録を頂きました。当日はまた皆さんにお手伝い頂くようになりますのでよろしくお祈い致します。ホストクラブとして素晴らしい会になりますようにと願っています。

② 11月29日に小倉で全日本の全国総会が開催されます。総会とともに山口・秋芳洞を巡るツアーを組みました。お配りした実施要項をご参照の上、是非ご参加ください。

### (7) 八王子「宇宙の学校」 内山サブリーダー

八王子「宇宙の学校」は3会場とも開校式を終えま

した。出席率95%で大変好評でした。会員の皆様にもご協力を頂きました。ありがとうございました。

次回は9月から2回目以降の開催になります。

### 8. 八王子「宇宙の学校」後援会 澤渡幹事長

7月例会で八王子「宇宙の学校」への財政的支援をお願いしましたところ、既に60人もの会員の皆様からご協力の申し込みを頂きました。いつもながらのご支援に感謝いたします。引き続き温かいご声援をよろしくお祈い致します。

### 9. 同好会活動報告

今年度から、同好会の連絡事項は、会場内の「白板」に掲示することとなった。特に報告を必要とする場合には、従来通りとする。

### 10. プロバス賛歌斉唱

### 11. 閉会 武田洋一郎副会長

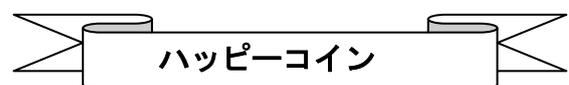
皆様今日は。今日は「山の日」祝日です。例会出席、休日出勤……久しぶりに使う言葉ですが、お疲れ様でした。日野プロバスクラブの皆様、お忙しい中ご列席ありがとうございました。



又、今日の卓話で肥沼先生のお話、これを機会にさらにその業績を知ろうと思います。ところで、「万日記念日」という日があることを知りました。今日も池田さんからの誕生カードを5名の方が受け取りました。今回は万日記念日に該当する方はいらっしゃいませんでした。

生誕1万日目は27歳4ヶ月、2万日目は54歳9ヶ月、3万日目は82歳1ヶ月となります。というわけで、自分へのご褒美として万日記念を祝いましょう。

私は生誕3万日記念日までのあと7年を目指して頑張りたいと思います。では来月まで、さようなら。



◆7月例会欠席のため、本日岩島新年度出帆のお祝いハッピーコインです。 杉山 友一

◆八王子「宇宙の学校」支援の会への各位のご協力に感謝申し上げます。 杉山 友一

◆本日の卓話 ご理解頂けましたら、今後ともご協力の程お願い致します。 杉山 友一

◆11月の全日本第7回総会のご案内をさせて頂きました。総会に続き秋の山口のツアーを致します。秋の楽しい旅に是非大勢ご参加下さい。立川富美代

◆東日本ブロック交流会に沢山のお申込み頂き有難うございました。楽しい交流会をめざしております。尚、当日受付等お手伝いの方々も感謝致します。 立川富美代

◆傘寿を迎え。今月の誕生日に傘寿を迎える。目出たし。目出たし。 宮崎 浩平

◆今月傘寿にて候。秋雨じゃ濡れて参ろう。 八木 啓充

◆今月は山の神の誕生日。末永く明るく、健やかに！乾杯！ 八木 啓充

◆今年も元気にバースデーカードを頂ける喜びに感謝。8月3日 83歳になりました。 大高 秀夫

◆今日は初めての「山の日」の祝日の記念日を祝して。 野口 浩平

◆我が家の庭木に巣作りをしたヒヨドリの卵は3個でした。そして、その後無事に雛が孵り、裂けんばかりに口を開けて餌をねだっていましたが、2週間足らずで元気に育ち、巣立って行きました。ホッとする反面、淋しさも残りました。 岩島 寛

◆リオ・オリンピックで盛り上がっていますが、八王子市だってたいしたものです。東京都市町村総合体育大会で10連覇（10年連続総合優勝）を達成しました！ 新記録です！ 岡部 洽

◆八王子高校甲子園出場。八王子市56万人の悲願達成。（初の甲子園出場） 宮崎 浩平

◆八王子学園初の甲子園お目出とう。アリンコ軍団誰が相手でも必勝する事。健闘を祈る。 濱野 幸雄

◆八王子で初めての甲子園出場おめでとうございます。孫娘がブラバンOGで応援に行っています。 土井 俊玄

◆子供の頃、八王子学園の生垣をくぐって校庭でやった草野球。その頃の思い出とともに甲子園出場が驚きです。 土井 俊雄

◆先週末、高校の同窓会でゴルフ連チャンでやり、

二日とも優勝。仲間からブーイングでしたが悪い気はしませんでした。仲間の孫が山梨学院で甲子園に。八王子学園との対決が楽しみだったのですが。

一瀬 明

◆オリンピックの連日のテレビ放映。選手達の美しく、力強く戦う雄姿に感動！感動！です。メダルの獲得もありがとう!! 飯田富美子

◆リオ五輪。選手の方々の頑張りに元気をもらって。毎日夜ふかしです。 吉田 信夫

◆本日(山の日)は3つの金メダル！素晴らしい選手に感謝。7人制ラグビーも頑張れ。馬場 征彦

◆八王子まつり。恒例の多賀神社、千貫神輿渡御無事終る。 宮崎 浩平

◆高尾山温泉「極楽湯」に行ってきました。湯質は大変良く、色々な湯船が7つ8つ。露天風呂は青空の下、爽快でした。サウナもあって、入浴料1,000円。食事処も充実していて、楽しい一日でした。

山形 忠顯

◆Y新聞の「英語クロスワードパズル」懸賞。10年来コツコツと応募中。そしてこの7月の当選者欄に私の名前が!! ハッピーな興奮!! 「継続は力」いつかは、その努力に幸運が訪れます。 武田洋一郎



## 「米百俵」海を渡る

竹元 正美



私は、中米のホンジュラスという国に、2001年6月から2004年7月まで、約3年間、大使として赴任しました。ホンジュラスは、中米の真ん中に位置しており、北はカリブ海、南は太平洋に面しております。

北にグアテマラ、西にエルサルバドル、南にニカラグアと国境を接しております。面積は日本の約三分の一、人口は約800万人で混血が91%です。

また、米国に近く、地理的優位性を有しており、コーヒー、バナナ、養殖エビ、繊維製品などを輸出しております。マヤ文明のコパン遺跡やカリブ海の島などの観光資源に恵まれております。民族紛争や宗教紛争もなく、国民は勤勉です。雪も降りません

ので一年中耕作できます。大変良い国です。しかし、中南米では3番目の貧困国です。一人当たりGDPは、2,203ドル（2015年：中銀）。

なぜこういう国が貧困なのか。その原因は、教育です。学校も教室も足りないし、先生も教材も足りない。教育にお金を費やしてこなかった国。ですから、教育を充実し、人物が出てくればこの国は必ず発展するという気がしました。日本の長岡藩の故事である「米百俵」の精神が必要だろうと思いました。

米百俵の故事は、戊辰戦争で長岡藩が官軍に負けて城下が焼け野原になり、貧困にあえいでいた時に、三根山藩が救援米として米百俵を送ってくれた。この米を大参事の小林虎三郎が、藩士たちに配らないで、売却して得たお金を教育のために使ったというお話です。将来のために人物を養成する重要性を説いたお話しです。

私は、当時のマドゥーロ大統領に、次の3点を話しました。①ボーイズ・ビー・アンビシャス（若者たちに夢を持たせること）、②所得倍増計画（国民に夢を与え、率いていくリーダーシップ）、③米百俵の故事（教育の重要性）。大統領はこの話を気に入り、特に、米百俵の話をもホンジュラスで広めて欲しいと言いました。バトレス文化大臣にも話をしたところ、文化省の傘下の国立演劇学校で「米百俵」の演劇を上演したいと言い、自らスペイン語に翻訳しました。

長岡市、戯曲「米百俵」を書いた山本有三の三女の瀬戸鞠子さん、英訳したドナルド・キーンさん、「米百俵」の演劇を全国上演した「すわらじ劇



日本の援助で完成した「米百俵の学校」と子供たち

園」、建設会社のハザマ、JICAなどの協力を得て、2003年5月、国立劇場で初演が行われました。

初演は大成功。全国各地でも上演。紀宮さまの他、向井千秋さんや長岡市の森市長も観劇されました。ホンジュラスでは、「日本からの最高の贈り物だ」、「ホンジュラスが最も必要としている教育の重要性を伝えてくれた」などの声が上がりました。



演劇「米百俵」の舞台

### 高取焼の窯元を訪ねて

高取 和郎



昨年（2015年）の11月に大分県日田市を訪ねました。日田は江戸時代には天領として栄え、今も豆田町辺りには江戸時代から続く店や建物が多く軒を連ねています。

日田市を訪ねた目的は九州の小京都といわれる街並みを見る事と、県境に近い福岡県小石原鼓にある高取焼宗家窯を見学する事がありました。

高取焼を最初に知ったのは、40年ほど前に仕事の同僚からお前の名前の焼き物があると湯呑を頂いてからです。湯呑の高台脇に高取の刻印があり、高取焼という焼き物がある事を知りました。

その後20年程過ぎた頃陶芸を始め、主に茶陶器（抹茶茶碗、水指など）を作陶してきま



高取家宗家

した。陶芸を始めてから自分と同じ名前の高取焼の窯元を訪ねてみたいと思っていましたので、日田へ行く折に回って見る事にしました。

高取焼とは小堀遠州が指導した「遠州七窯」の一つです。「遠州七窯（陶器考、1854年の記載）=志戸呂・<sup>ぜぜ</sup>膳所・<sup>あがの</sup>上野・高取・朝日・赤膚・<sup>こそべ</sup>古曾部」

私の一句～8月の句会から

河合 和郎

今月も八月らしい佳句が沢山。最近の句会は俳句談義や硬軟取り混ぜた人生談義が尽きない。毎月3時間を超える句会を楽しんでいる。

夏深む藍より青き佐渡の海

池田ときえ

大きな景をうまく詠んでいる。移ろいゆく日本海の季節感がよく出ている。秀句。

ぼつり来て土の匂いや大夕立

田中 信昭

誰もが体験する夕立の光景。降り出しには必ず土埃の匂いがする。俳句には難しい言葉は要らない。

チベットの夏山に照る碧き湖

飯田富美子

雄大な景色を想像させるスケールの大きな句。秀句。作者は旅の句をよくする。旅は人を詩人にする。

島々を金色に染め瀬戸夕焼け

立川富美代

瀬戸の夕焼けは殊の外美しい。作者も旅の句は得意としている。旅は人生を豊かにしてくれる。

中継をアップで見つつ遠花火

馬場 征彦

テレビと実景の二元鑑賞を楽しむ作者。汗もかかずにアップは画面で。花火の新しい楽しみ方。

戦死とか未亡人とか憶ふ夏

渋谷 文雄

戦争の哀しい記憶を背負っている人はまだまだ多い。戦争の傷を癒すには百年の時が必要とか。

しづしづと芸者神輿の町祓ふ

山形 忠顯

いい雰囲気。古き良き時代の故郷の追憶か。はちおうじ祭りにもお妓さん方が参加している。

神輿練る若者減りて里寂し

東山 榮

少子化は遂にここまで。御神輿の担ぎ手がない祭りとは寂しい限り。やがて地域消滅の恐れが。

幼子の踊り疲れて親の背

矢島 一雄

盆踊りの一景。よく見かける微笑ましい光景を詠んで佳句。八王子音頭が聞こえて来るような。

砂遊び飽いて海辺のかき氷

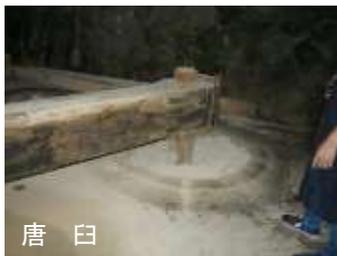
河合 和郎

海の兼題でこの句を。子どもの頃、江ノ島で海水浴を楽しんだことを懐かしく思い出して。

高取窯は、秀吉の朝鮮の役で参戦した筑前黒田長政が連れ帰った高取焼始祖、八山が慶長5年(1600)に現在の福岡県直方市郊外の鷹取山の山麓に「永満寺窯」を築いたのが始まりで、初代八蔵重貞(朝鮮名八山)は士分に取り立てられ、長政より鷹取山と母国高麗に因んで高取の姓を拝領したとの事です。

2代になると小堀遠州の指導を受け、きれい寂の茶器を作り始め、現在もその技術を継承しています。高取焼宗家窯は2代貞明が現在の福岡県東峰村小石原鼓に窯を築き、現在は13代が作陶しています。

自動車道から高取宗家窯元入口の看板に沿って入ると、築100年以上は経っている茅葺屋根の堂々とした家があり、以前は住まいでしたが現在は展示室になっています。住まいとしては裏に新しい家があります。家の前には川が流れ、その水を利用して唐臼があり、今でも陶土を粉碎しています。展示室に



唐 臼

は中興の祖と言われる11代静山の作品がガラスケースの中に堂々とありました。9代が明治の廃藩置県で黒田藩の御用窯としての窯

を廃業しました。その後10代が再興を試みましたが途中で病没、長女の静が後を継ぎ高取焼を再興、昭和36年遠州流11代宗匠より11代高取静山の名を頂き、高取焼の中興の祖と言われます。11代静山作の水差しがガラスケースに並んでいます。端正な形ですが、高取焼独特の渋い茶の色の釉薬で重厚な作品です。又、現在の13代八山の作品も多く並び抹茶茶碗、水差しなどがあり、別の棚には生活用品の茶碗、コーヒーカップなどもあります。茶碗は一桁違うので、記念にコーヒーカップを求めました。

高取家に伝わる秘伝書により一子相伝の技術が伝承されています。今でも土は地元で採れる陶土を唐臼で粉碎し長石を混ぜ使用しています。窯は登り窯と穴窯を使用しています。現在も遠州流家元からの教えを受けながら、幼少より11代静の元で修業した13代八山(本名栄作)が継承しています。

14代になる跡取り(名は春慶)は、現在は京都の遠州流茶の師匠について茶の修行をしているとのことでした。これからも遠州流の茶道具を主に高取焼を継承されていくでしょう。

編集後記 台風の置き土産の酷暑の中、心頭滅却……の心意気で編集に取り組んだが矢張り暑かった。第250号という記念すべき号を担当し、光栄の至り。 情報委員会・河合和郎